

令和4年度

広陵町土地開発公社第2回臨時理事会議事録

広陵町土地開発公社

令和4年度広陵町土地開発公社第2回臨時理事会議事録

令和4年9月5日(月) 令和4年度広陵町土地開発公社第2回臨時理事会を広陵町役場3階大会議室で開催。(開会午後1時27分)

1 出席理事

理事長 松井宏之 理事 青木義勝 理事 植村佳央
常務理事 中川保 理事 奥田育裕 理事 藤井勝寛
理事 栗山ゆかり

2 出席監事

監事 笹井由明

3 出席事務局職員

土地開発公社事務局長 山内孝道
土地開発公社事務局員 石川悟・森正行・中山晃尚

4 理事会に提出した議案

(第1号) 広陵町との箸尾準工業地域下水道整備事業の受委託にかかる「協定書」の締結について

(第2号) 令和4年度第2回補正予算について

5 その他

・特になし

6 議案審議

(第1号)

事務局から議案について説明を行い、理事長から「協定書の別添資料のA、B地区において水道管工事の始点と終点は図中でどの部分になるのか。」との質問があった。

事務局より「A地区については、図中のNo.1割込人孔からNo.6人孔までが対象となる。No.6人孔からNo.7人孔については今後必要になったときには将来計画として工事をしていくが、今回の協定にかかる事業としては工事対象外になる。また、B地区についても、図中の既設No.0からNo.6までが対象となる。No.6からNo.7についてはA地区と同様に今後必要になったときには将来計画として工事をしていくが、今回の協定にかかる事業としては工事対象外になる。」と回答した。

また、理事から「下水道管の布設工事のみ実施という説明であったと思うが、上水道の工事は実施しないのか。」との質問があった。

事務局より「下水道工事について、道路工事より後回しにすると盛り土

した後にさらに深く掘ることになるので今より費用が多くかかることになる。よって一体化することによって経費を削減できる。上水道においても計画はあるが、工場用地の入居企業により水道管の位置が変わる可能性があることまた、上水道に関しては、盛り土した後でも掘る深さは浅いので費用はかからない。今実施してしまうと、水道位置が変わる可能性がある。入居企業の計画がある程度決まった段階で改めて上水道に関しては工事した方が良く考えている。」と回答した。

次に監事から「費用負担額は5,000万円ということであったが、令和4年度は1,000万円、令和5年度は4,000万円で分けて計上しているのはそれぞれ工事の区分けはもう決まっているのか。」との質問があった。

事務局より「現時点では決まっていない。予算割りで決めている。」と回答した。

以上により、第1号議案は承認された。

(第2号)

事務局から議案について説明を行い、監事より「資金計画における事業収益の補正前の441,215千円と収益的収入及び支出予算補正の事業収益の補正前の441,715千円とでは500千円の差があり、この差額の理由を教えてください。また債務負担行為に関する調書で計上の仕方として当該年度を入れない場合も見受けられる。公社の場合は、当該年度いわゆる令和4年度から令和5年度までの2カ年を令和4年度に組み入れて債務負担を計上されているという方法をとられたと考えられる。したがって、50,000千円全額分を限度額に記入されているという理解でいいか。」という質問があった。

事務局より「まず500千円の差額については、前年の令和3年度に地権者から500千円の手付金をいただいた。令和4年度になってから事業収益として収入予算に計上されることにはなるが、令和4年度になってからのお金の動きを示している資金計画には手付金は計上されないで、500千円の差が出ている。また、監事がおっしゃるとおり債務負担行為に関する調書では、令和4年度及び令和5年度の年割額を合わせた50,000千円で計上しているという形になっている。」と回答した。

以上により、第2号議案は承認された。

7 その他意見・質問

理事より「先日にクリーンアップならに参加した際に、南の代替地の近隣に住んでいる方から、代替地の水はけが悪いのではないかという意見を聞いている。現状の対応状況についてお伺いしたい。」と質問があった。

事務局より「理事からおっしゃっておられるのは、おそらく先月の8月15日午後4時前後にかなりの雨が降ったときだと思われるが、その日に代替地の調整池がオーバーフローしたことがあった。そのことについては、事務局の方で対策の検討を進めた結果、まず一点目は調整池のオリフィスの機能が想定よりも弱かったことが考えられる。二点目として、造成区域の北側に水路がある。開発区域の水路と西側から流れる水路が合流し、北側に流れている。その日は開発区域以外の場所でも雨が降ったことで、代替地の水流が、西側から流れる水路の水流によって阻害されてしまったのではないかと考えられる。これらのことを踏まえて、3点の対策を検討しており、まずは既に完了しているが周辺の水路の泥上げをすること、オリフィスの機能改善に向けた段取りを進めている。また、水路についても西側から流れる水路の水の流れと同じ方向に流していくような改良を施すということで検討し、実施に移す段取りを進めている。なお、その後についても雨の日が続いており、8月18日の夜から19日にかけても大雨が降ったが、19日の朝に代替地の確認に行った。そのときは問題がなかった。また、臨時理事会の1週間前にも大雨が降っていたが、そのときにも調整池にはあふれるほどの水は貯まっておらず問題なかった。これらのことから基本的には大丈夫だと考えられるが、問題が一度あったのは事実なので対策は講じていく。」と回答した。

この回答に対して理事より「いわゆる商品となるところであるので水はけが悪いという理由で、売れない可能性も出てくるのが考えられる。事務局で対応はしっかりいただきたい。」と意見があった。

8 その他

議長から、他に関連質疑がないかを諮ったが、質問等のない旨の回答があったため、議長から理事会閉会の宣言があった。

(閉会午後1時58分)

上記のとおり、令和4年度広陵町土地開発公社第2回臨時理事会の議事の経過及びその結果を明確にするために、この議事録を作成し、議長及び出席者2名が署名する。

令和4年9月30日

議長 松井 宏之
署名人 藤井 勝寛
署名人 栗山 ゆかり